

留学先大学： 西オーストラリア大学  
 留学先での所属学部・研究科： \_\_\_\_\_  
 留学先での在籍身分： Cross Institutional (Exchange) Undergraduate  
 留学期間： 2014 年 7 月～ 2015 年 6 月  
 神戸大学での所属学部・研究科： 理学研究科  
 学年（出発時）： 修士1年  
 本報告書記入日： 2014 年 9 月 23 日

## 出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

- ・神戸大学の交換留学に関するホームページ
- ・現地大学のホームページ
- ・知り合いに相談
- ・交換留学の経験者が運営する団体のイベントへの参加
- ・留学フェア

## 住居について

- ・住居のタイプ：  大学寮  アパート  ホストファミリー  その他（具体的に） \_\_\_\_\_  
 住居（寮，アパート）の名前： Trinity
- ・部屋の種類：  一人部屋  二人部屋  その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・ルームメイト：  現地学生  留学生（出身国： \_\_\_\_\_）  その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・どのように探しましたか。：  大学の斡旋  自分で探した  その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・大学までの通学時間・手段： \_\_\_\_\_ 5分， 自転車
- ・住居の周りの環境はどうか。：

深夜までバスが運行しているので、部屋に依ると思いますが、騒音が気になることがあります。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

寮で提供されます。授業などで寮に戻れない場合はサンドウィッチを注文することもできます。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

UWAの寮全てにメールを送ったのですが、返信して下さった寮はTrinityのみでした。

## 大学の授業について

### 1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：  出発前  到着後
- ・履修登録の方法：  On-line  International Office等の仲介  その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：  無し  有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：  はい  いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

希望した授業が必須の授業と重なってしまったため。

## 2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	HUMA1901	Penny Hawken	3	6	約40	essay等の課題が出ます。質問する場所が大学に設けてあるので、利用すると良いと思います。
2	HUMA1902	Penny Hawken	3	6	約20	essay等の課題が出ます。質問する場所が大学に設けてあるので、利用すると良いと思います。
3	ARCY1002	Martin Porr Benjamin Smith	3	6	約100	Tutorialでessayを書いたり、presentationを行います。また、宿題で石器のレプリカを作ります。
4	SSEH2270	James Dimmock	4	6	約200	週に一度、ダンスの授業があります。Tutorialでは班に分かれて発表を行います。
5						
6						
7						
8						
9						
10						

## 3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業はLecture（日本でいう授業）とTutorial（discussionやpresentation）に分かれています。Lectureは録音され、オンラインで後から聞くことができます。基本的に出席をとることが無いので、Lectureには出席せず、オンラインで受ける生徒も少なくありません。Tutorialは出席をとるため、ほとんどの学生が出席します。クラスサイズについてですが、授業によると思います。またTutorialでは生徒を何分割かにするので、人数は少なくなります。成績評価についてですが、アウトライン(シラバス)で確認できます。現地学生ですが、思っていたよりも積極的ではないという印象です。先生が生徒に質問を投げかけても誰も答えない時もあります。その際は自分のチャンスだと思い発表するようにしています。

## 一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00	授業			授業		平日に終	土曜日と
10:00	授業					わらすこ	過ごし方
11:00	授業		授業			とのでき	は同じで
12:00	セミナー		授業		セミナー	なかつた	
13:00			授業		セミナー	宿題、ま	
14:00		授業		授業		たは旅行	
15:00	授業	授業	授業	授業		等	
16:00				授業			
17:00				授業			
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

## 現在までの感想 自由に記入してください。（800字〜）

留学に来てから早くも約二か月が過ぎました。毎日毎週が怒涛のように過ぎていきます。カルチャーショックの連続でしたが、現地での生活にも少しづつ慣れ、日々苦しみ、楽しみながら過ごしています。数点気付いたことやパースについて紹介します。

まず物価に関してですが、高いの一言です。特に食べ物、飲み物が非常に高いです。コーラのペットボトル(600ml)が\$3以上、バーで飲むビール（中ジョッキほどの大きさ）で、\$9ほどします。このため、意識せずとも節約生活になります。近所の酒屋で安いビール（それでも24本、\$36）を購入し、それを週末バーに行く前に友人と飲み、バーではあまり飲まないように節約しています。また、寮での食事はビュッフェスタイルで、私は多く食べる方なので、食費に関しては気にせず食べることができて、助かっています。注意しなければならないのはお腹の脂肪です。これは分かっていたことですが、日本食を食べる機会が少ないです。オーストラリアに来て早速日本食が恋しくなったので、近所の日本食料品店で味噌汁を購入しそれを食べています。ただ、こちらも値段が高いため、あらかじめ持ってきておく方が良いと思います。

次に語学です。自信を持っていた英語力は一切オーストラリアにおいて通用しませんでした。今ではましになりましたが、来た当初は授業が全く聞き取れませんでした。パワーポイントを利用するので、大まかな流れはつかめるのですが、詳細は理解できずに進んでいくことが今でも多々あります。また友人関係ですが、始めは所謂、“ノリ”でなんとかなっていた（たと思っていた）ましたが、最近では細かなコミュニケーションをとることができず、日々もがき苦しみながら毎日を送っています。言いたいことが伝わらない、相手の言っていることが分からないというのは非常に辛いです。さらに、私が住む寮には世界各国から来た生徒が住んでいるので、話す英語も人それぞれです。ある地域出身の人たちが話す英語は全く聞き取れず、今でも話す度に聞き返しています。友人は来た当初と比べて英語が上手になったと褒めてくれますが、グループの会話などには未だについて行くことができません。大学に英語の授業とは別に、英語が母語でない人のためのEnglish Bootcampという会話を練習したり、essayの書き方を学ぶWRITESmart等のセミナーに参加しています。その他にも空いた時間で英語にできる限り触れる努力を続けています。これは当たり前ですが、留学が決まってからなお一層英語にかける時間を増やした方が後のためになると思います。

残り約10か月、さらに充実させて後悔のない留学生活にしたいと思います。